

# ゆりかご えんだより

3期(10~12月)のねらい

手を使ってつくりだす活動を中心に  
園生活を豊かにしよう 2022.11.1

2020年の初頭に始まった、新型コロナウイルスの感染拡大。当初は、園内の園児や職員が一人でも感染したら「休園」措置をとらねばならず、札幌の感染状況を注視しながら、祈るような気持ちで保育を続けてきました。

早い時期に休園措置をとった園の園長先生から情報を聞き、もし当園で感染者が発生したときのために、保健所に提出するリストを作成しておきました。このリスト作りに2日かかり、子ども未来局が示す「陽性者が発生したら、原則2日間程度の休園措置をとる」というのは根拠があったのだと思います。休園に悩むとしても、できるだけ保護者の皆さんの負担を減らすために、前もって準備できることはやっておこうと、年度が変わるとリストを作成し直しました。(単に更新するだけではないので、これまた時間がかかる)

ゆりかごは「親たちが安心して仕事を続けられる園」をめざしていますが、園関係者に陽性者が発生し、子どもがその濃厚接触者になると、健康観察期間中は園を休んでいただくかなければなりません。これでは働く保護者たちを支えているといえないのでは…? と思いつながら2年半を過ごしました。感染状況を鑑みつつ、家庭保育の協力依頼や保育時間の短縮、感染予防の協力依頼と、皆様のご協力に感謝しております。

今年の8月から登園基準が見直され、園内に陽性者が発生しても園が濃厚接触者を特定する必要がなくなりました。保育体制が整うのであれば、休園措置をとらなくてもよくなりました。これは大きな変化です。また、10月からは陽性者が発生しても札幌市へ報告する必要がなくなりました。これまでの2年半とずい分受ける印象が変わりましたが、今後もこれまで同様、感染者の推移を見ながら感染防止に努めたいと思います。

感染状況をふまえてはありますが、園でのルールも少しずつ緩和する予定です。

- ・卒園児が会いに来てもらっても玄関で対応していましたが、保育園時代を懐かしく思い出してもらえよう、短時間であれば保育室まで入ってもOKとします
- ・誕生会はクラスごとにしていましたが、他クラスと合同でします。
- ・園関係者以外の園舎への立ち入りも可とします。(1月には父母の会主催の講師を招いての学習会を企画中です)

このようなことを緩和しつつ、模索しながらこれまで行ってきた活動に近い形から園運営を通常に戻していけたらと思います。